

資料2

「取り上げて欲しいこと」に対する回答

令和5年7月25日

宮崎県日向保健所

1 大規模災害時の情報集約と活動拠点の明確化について

Q1 近々発生が予想される南海トラフ地震とそれに伴う大津波に対して初期対応が混乱しないようにしていただきたい。

A1 「議題（1）①令和5年度大規模地震時医療活動訓練について」おいてご説明しましたとおりです。

2 指定難病の方々との活動について

Q1 以前、指定難病の方々とは活動をしていましたが、現在その活動はどうなっていますか。

A1 現在、保健所と難病患者さんとの間でそのような関わりはございません。

県の難病相談・支援センターでは難病患者さんやご家族の交流会を行っており、本年度も年に6回の企画がされております。

また、県内の各難病患者会による交流会等もございます。

今後、年度によって同疾患の方による交流会等が再開していただければよいと考えています。

また、延岡等近隣の保健所で開催される交流会等がある際にはご案内等行いたいと考えております。

Q2 保健所として難病患者さんにかかわっているのでしょうか。

A2 現状では、難病医療費助成制度に関するご説明や、申請の対応について多く対応させていただいている状況です。

また、主に神経難病の難病患者さんへ、家庭訪問等で療養状況の把握やご本人、ご家族からのご相談に対応させていただいております。

お手元にお配りしております令和5年度日向保健所業務概要のP58に、申請や相談対応の件数を掲載しておりますので、ご参考ください。

コロナ禍により、この数年協議会も行えていなかったため、本年度以降、徐々に難病関連の協議についても行っていきたいと考えております。